

平成 18 年度第 1 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議議事概要

1. 日時 平成 18 年 6 月 5 日 (月) 15 : 00 ~ 17 : 00

2. 場所 国立情報学研究所 22 階会議室

4. 議事概要

(1) 学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の交代等について

坂内本部長から、学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の交代について下記の紹介があった。

- ・ 東京大学情報基盤センター長 岡部洋一教授から米澤明憲教授
 - ・ 高エネルギー加速器研究機構計算科学センター長 渡瀬芳行教授から川端節彌教授
- また、国立情報学研究所の漆谷重雄教授を、ネットワーク作業部会委員としたい旨の提案があり、承認された。

(2) NII の組織再編について

坂内本部長から、資料 3 に基づき報告があった。

(3) SINET3 のネットワーク構成について

ネットワーク作業部会主査の安達委員から、資料 4-1, 4-2 に基づき、概要説明があり、引き続き漆谷教授から、SINET3 の回線構成 (案) について詳細な説明があった。その中で、第 1 回ネットワーク作業部会 (5 月 17 日開催) にて選出された、減速対象の 6 機関については、NII に個別対応を一任することで了承された。また、次世代スパコンの拠点となった理化学研究所について、その研究・計算リソースを共有するためにノードとすることについて了承された。

(4) 平成 18 年度認証基盤構築事業計画について

認証作業部会主査の岡部委員から、資料 5 に基づき説明があった後、次の意見があった。

- ・ 先行する東工大、阪大以外の大学は学内の予算措置が厳しいのではないかとどこまで経費負担してもらえるか不透明である。
- ・ S/MIME 等のパブリック証明書の発行には、交通整理の意味も含め、一定の負担をお願いするつもりである。ただし、民間よりも安く設定できるようにしたい。

(5) グリッド作業部会の設置について

安達委員から、資料 6 に基づきグリッド作業部会の設置について提案があり、了承された。なお、構成員としてペタコン関係者をメンバに入れてはどうか、との提案があり了承された。

- (6) 国立大学法人等における情報セキュリティポリシー策定作業部会の設置について
安達委員から、資料 7 に基づき説明があり、了承された。また、次の意見があった。
- ・ 東大の Web に学内向けポリシーが掲載されているのでご参考いただきたい。
 - ・ 今回策定するポリシーは、前回の反省を踏まえて、各大学法人等で即利用できるものにしたい。そのため、作業部会では大学の実情を踏まえたポリシー設計を行い、実作業部分については外注する、という提案である。
 - ・ ISO1799 に準拠することは大学ではコストがかかり過ぎるので、そこまでは考えていない。
 - ・ 共同利用機関では、外部の共同研究者に対するセキュリティガイドラインが明確になっていないので、このようなポリシーを策定してもらえるとありがたい。

(7) その他

- ・ スーパーSINET 推進協議会に代わる新体制について
坂内本部長から、スーパーSINET の共同研究の終了に伴い、スーパーSINET 推進協議会に代わる新たな枠組みづくりとして、e-サイエンスを実現するために、各研究部会のポテンシャルプレーヤーや大学等に対し、公募の形でVO形成を図りたい旨の提案があり、了承された。

- 以上 -